

令和6年度 第2回高浜市障害者地域自立支援協議会本会議 議事録

日時：令和6年10月22日 15時30分～17時

場所：いきいき広場2階 いきいきホール

【出席委員】

児玉委員、佐山委員、藤浦委員、斎藤委員、水野啓委員、山上委員、新美委員、川角委員、水野美委員(代理出席)、林田委員、石黒委員、乗山委員

【オブザーバー】

鈴木氏

1 あいさつ（会長）

今年の夏は異常に暑く、支援が大変だった中、8月には南海トラフ地震に対す注意情報が出たり、石川県能登においては、震災及び豪雨のダブルで被災を受けた。日常的に各機関・事業所の連携が必要になる。また、本日は、部会の活動内容と課題について忌憚のない意見を聞かせていただきたい。

2 報告

(1) 部会活動について【資料1】のとおり

- ・障がい福祉サービス事業所部会（部会長から報告）
- ・障害児通所事業所部会（部会長から報告）
- ・防災部会（部会メンバーから報告）
- ・地域生活支援拠点部会（地域生活支援コーディネーターから報告）

(2) 研修事業について【資料2】

・実施済みの研修【資料2-1】

今年度は急遽、他機関との共催で研修を2回実施した。

① 高浜市手をつなぐ育成会

障がい年金に関する学習会を共催。会場確保や広報への協力をした。

② 社会福祉法人昭徳会

虐待防止研修を共催。会場確保。過去に市内事業所から募った事例を活用。

- ・開催予定の研修【資料2-2、資料2-3、資料2-4】

3 議事

(1) 各部会の課題について

○事務局より説明

今年度当初にお示しした通り、部会の再編を考えている。引き続き、事務局で部会のあり方を検討していきたい。現状の部会構成には、色々な課題がある。方向性がまだ出せていない。ご意見をいただきたい。

○委員意見

- ・普段支援をしている中で情報が入ってきづいらいものについて情報を精査できれば良いと思う。
- ・制度改正や報酬改定があった時、施設も勉強していかなければならない。本会議が主催となって、みんなで勉強した方が良いと思う。情報に乗り遅れないようにしたい。
- ・研修に職員が参加できるようにしたい。また、情報が取りやすいように多くの職員が参加できるようにしたい。
- ・事業所が年数を経過して、支援の軸がぶれてきている。当事者に何が一番大事かを見直さないといけないと思っている。当事者の意見から学ぶ機会を持てるようになると良い。
- ・昨年度からの流れを理解して、部会長をやっている。部会長が変わると部会、協議会がどこを目指して向かっていくのか分からなくなってしまう。障がいの方の暮らしが豊かになることをねらいに、人が変わっても軸がぶれないようにしていきたい。
- ・防災部会の活動は終わりが見えない。やってきたことを皆さんにお知らせしていきたい。
- ・現状、民生委員は独居の高齢者が主な見守り対象で、障がいのある人のことをあまり知らない。部会で授産所に作業支援に行っているが、関わりが難しいと感じている。他の事業所にも行ってみたいので、見学の機会を作って欲しい。
- ・精神障がいの人への接し方が分からないということがあれば、啓発に協力していく。地域移行は長い目で考えていくしかない。
- ・家庭も含めて支援していくことが必要だと感じている。学校を含めて対応するのも難しいことがあるので、情報共有しながら支援体制ができると良いのではと思う。
- ・高浜の保護者の会が防災の勉強会をやっている事をきいて、他市の保護者会でもやりたいという声が学校で上がっている。事前に勉強会ができると良い。
- ・学校として、連携できることはないかと思う。新しい情報・取り組みの中で、どういう動きがあるのか、タイムラグなく情報がいただけると良い。

地域アドバイザー：

防災部会の取組について。被災地に支援に行った人が講師になってもらうことも良いが、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)が1件1件をまわってどのような状態かをみている。そこに講師を紹介してもらうのも一つの方法。知的障害者福祉協会では、現地の施設に応援に行ったり、現地の利用者を施設で受け入れたりしている。また、育成会などで情報を集めている。被災地の場合は、ボランティアに来てくれた人にどこで過ごしてもらうかの場所の確保も重要。色々な人から話を聞くと良い。

部会全体としては、制度改正等に伴って、1年ごとにキーワードが変わる。体制整備の中心となる部会をもつこともある。

(2) その他の課題について

○委員より

- ・事業所の利用者のこと。軽度の知的障がいの子を知的障がいのある夫婦が育てている家庭。緊急時に誰がその家族に関わっていくのか、地域で支える時、どこで声を掛けていけば良いのか。協議会を使って支えていけたら良いのか。多問題家族を地域のネットワークで、もれなく支え、継続して

検討できるようにしなければいけないのではないかと思います。

地域アドバイザーからの助言

- ・そういうことがあったら、すぐにみんなが集まって検討できる仕組みがあると良い。地域生活支援拠点を活用することも一つ。まずは、登録してもらわないといけない。また、支援者に対する信頼感がないと連続した支援ができない。

○ 会長より

今回の本会議の内容を、是非、各部会でも報告し、それに対する意見を部会からいただきたい。部会からの意見を、次回、第3回の本会議で報告して欲しい。

4 その他

- ・第3回は令和7年3月5日（市）13:30～ 開催

令和6年 月 日

会議録署名者

会長

委員
